

## 宇都宮市立桜小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

#### 【学習に関する項目について】

○「家で、学校の宿題をしている」が93.9%、「学校の宿題は自分のためになっている」が96.9%で、家庭で宿題をする良い習慣ができていことが分かる。また、「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の回答は78.8%で市や県の平均を上回っており、自分の関心がある分野を追究する力がついていることも分かる。

●「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の回答は78.8%で市や県の平均を上回っているが、「家で、学校の予習をしている」、「家で、学校の授業の復習をしている」が低い傾向にある。また、「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」の肯定的割合が市や県の割合をかなり下回っている。宿題をきちんとやる児童が多いので、予習、復習を結び付けて提示したり、間違えた問題を繰り返し解くことで学習の確実な定着を図りたい。さらに、ノートの記入が苦手な傾向が見られたので、学習のまとめの場面で、適切なノートの書き方を確認したい。

●「1日あたりに、どのぐらい時間、読書をしますか」の回答では「10分より少ない」「全くしない」の割合が48.5%で市や県の平均を上回っており、読書量の少ないことが分かる。読書に対する興味関心を高める工夫や家庭で進んで読書に取り組む工夫を考える。

#### 【自分自身のことに関する項目について】

○「自分には良いところがあると思う」「自分は家族の大切な一員だと思う」100%で自己肯定感の高さと、家庭生活が充足していることが考えられる。「自分のよさを人のために生かしたいと思う」93.9%「人と話すことが楽しい」の肯定的回答割合は100%で市や県を上回っており、他者への思いやりの気持ちの高さや家庭や学校での会話が十分にあることが分かる。

○「早ね、早起きを心がけている」の肯定的回答割合が90.9%、「毎日、朝食を食べている」も97%で市や県の平均を上回っていることから、家庭で規則正しい生活をしている様子が伺える。

●「テレビのニュース番組やインターネットのニュース番組を見ている。」の肯定的回答割合は66.7%で、市や県を10ポイント以上下回っている。社会の出来事的话题を授業に取り入れるなどして、社会の出来事に関心をもつ力を高められるようにしていきたい。